

## 2021 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [ AICJ 中学・高等学校 ] 担当教諭名 [ 岩田 陽子 ] ( 2年1・2組 41名 )

相手国・地域 [ パキスタン ]

海外学校名 [ Modernage Public School & Boys College, Abbottabad ] 担当教諭名 [ Muneeza Mir ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単 元 名	時間数
	総合的な学習の時間	アートマイルプロジェクト	40
	道徳	身近なSDGsについて考えてみよう	2

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	飢餓をゼロに・Zero Hunger
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセー ジ)	飢餓をゼロにするためにはどうしたら良いか。また、世界中に飢餓に苦しむ人が居る中で、真逆の行為である食品ロスが起こっているが、どうしたら減らせるか。まずは遠い世界のことだと思わず、現状を知り、自らのこととして捉えることが必要だ。世界中の一人が小さなことから始めることで、大きな変化が起こるかもしれない。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
普段生活しているとなかなか接することのないパキスタンの同年代の生徒と交流を持ったことで、SDGsだけでなく他国の文化的な背景や異文化理解について興味を持つことができた。実際にテレビ会議で交流をした時には嬉しそうに英語やジェスチャーでコミュニケーションを取り、互いの文化に触れつつSDGsについて理解を深めた。	飢餓ゼロがテーマだったが、生徒の関心は身近で自分たちでも想像・解消しやすいフードロス削減に寄ってしまっていた。また全てにおいて活動を基本的に班やグループで行っていたため、なかなか主体的に動いているとは言えない生徒もいた。

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
今まで「異文化理解」という言葉は理解したつもりでも、全く違う文化的背景を持つパキスタンの生徒の作ったポスターやプレゼンを見たり、テレビ会議での交流をしたりする中で、実際に自分たちとの違いを目の当たりにし、その落ち着きぶりに驚いていた。その結果以前より国籍等に限らず相手のことを考えようという意識が出た生徒が増えたように感じる。	生徒と同じく、やはり普段英語圏の人と話すことはあってもパキスタンの人とやり取りをすることは初めてだったので、どのようにしたら良いのか、という戸惑いが最初はあった気がするが、国籍より個人間でのやり取りなのだと思うようになり、自分の中にも国籍や宗教の違いを気にする思いがあったのだと気付いた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月 7月	SDGsについて調べ学習をしたり、班ごとに自分たちや日本のことを自己紹介した動画を作成して送った。またパキスタンについて調べたことや質問を相手に送った。	自分のことや、日本や広島を紹介をするスライドやスピーチを作成し、それを更に動画として編集する中で、得意な生徒を中心に全て自分たちでやりとげ、大変そうながらも楽しそうであった。	道徳2 総合5
共有 テーマ学習	8月 ～ 10月	飢餓や食品ロスについて調べ学習を行ったり、二度講演を聞いたり自分たちの理解を深め、英語でのプレゼンテーションやポスターを作成し、パキスタンと共有した。	講演やパキスタンとのやりとりの中で初めて知ることや驚きが多くあり、毎回の振り返り等でその衝撃を知ることができた。	総合15
融合 メッセージ作成	11月	テレビ会議で互いにプレゼンしあったり、ポスターセッションをすることで双方がどのようなことを伝えたいか共有し、ラフ案を相手と交換しあい、下絵を作成した。	相手のポスターの完成度の高さに驚き、刺激を受け、テレビ会議では緊張しつつも楽しそうにしていた。下絵の作成は得意な子や立候補してくれた生徒を中心に自分たちで試行錯誤して進めていた。	総合10
創造 壁画制作	12月	下絵は少人数で進めたが、壁画作成は冬休み前のまとめて時間が取りやすい時期に生徒達自身がシフトを組み、2クラスの生徒全員で数日かけて完成させた。	完成図案を見ながら全員が慎重に、また図案にない細かいアイデアなどを出し合いながら楽しそうに作成していた。	総合8
評価 振り返り 自己評価	3月	パキスタン側の壁画が完成したというセレモニーの様子を鑑賞し、また実際に完成した壁画を見た後、活動を通して学んだこと、世界平和や国際交流についてパキスタンに送るメッセージを動画にして送る。	完成した壁画を見た時には驚きととても嬉しそうであった。またパキスタンに送るメッセージを作成する際には、今までの活動を振り返り、達成感を感じているようだった。	総合2

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてついてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	4	今までに接することのなかった国の相手とやり取りをする際に、まずは相手の国ではどのような文化的背景があるのか調べたり、調べた上でわからなかったことは質問して相手を理解しようとしたり、また自分たちのことも理解してもらおうとする姿勢が見られたため。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	飢餓やフードロス削減について学ぶ中でグループディスカッション等も行うことがあったが、課題を考えられても解決策がいまひとつであったり、発想は良くても実現不可能なアイデア等が多く見られたため。
主体的に考え行動する力	4	基本的に全ての活動がグループでの活動であったが、リーダーを中心に各活動で得意な生徒が核になって自分たちで活動を進めていったが、全員が主体的だったとは言えないため。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	4	なかなか直接テレビ会議等リアルタイムでやり取りをする機会が取れなかったが、実際に話しをする際には英会話が得意な生徒が中心になってコミュニケーションを取ろうと前向きに活動していたため。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	壁画を作る際に、各班で原案を考え、互いの意見を取り入れて複数案を一つに融合し、その後パキスタンと共有して、と様々なアイデアを取り入れつつ下絵を作成。また SDGsアンバサダーで世界でもよく知られている日本の芸能人を起用する際、事務所の方と連絡が取れず許可がなかなか下りなかったが、最初のアイデアを実現させるために諦めずに生徒が頑張った結果、許可を得られたため。